

# 蔵王町

## (1) 概要

本町の公共下水道事業は、阿武隈川流域関連公共下水道として昭和56年度から工事に着手、昭和63年度に供用開始し、平成26年度末の下水道普及率は51.8%、整備面積441.4haとなっています。水洗化率は83.7%となっています。

合併処理浄化槽事業については、平成5年度から個人設置型の浄化槽設置整備事業を進めています。当町の浄化槽における整備率は43.1%となっており、整備は進んでいる状況にあります。今後も蔵王町長期総合計画に合せて整備を進めていきます。

## (2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理普及率：H26 94.9%      H37 99.2%      H47 100%

## (3) アクションプラン達成のための各事業の取組

### 1) 下水道事業（単独及び流域）

平成37年を整備完了として、計画的な整備に努めます。

クイックプロジェクト（発生土の再利用など）を利用することで、早期整備及びコスト縮減に努めていく。平成30年頃には向山地区の重点整備を進める。

下水道普及率：H26 51.8%      H37 55.1%      H47 55.1%

### 2) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、平成5年度から個人設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。合併処理浄化槽を設置する世帯に対して、国及び町の補助金を交付し、支援することで生活排水処理の拡充を図り、公共水域の環境整備のために、さらに合併処理浄化槽による普及促進を進めていきます。

浄化槽普及率：H26 43.1%      H37 44.1%      H47 44.9%

## (4) 住民との協働

新增改築等により下水道へ新規接続した場合、融資あっせんに係る改造資金の利子を町が補給する水洗便所改造資金融資あっせん制度をPRするほか、下水道の日にあわせて町広報誌にて下水道への新規接続へのPRを行い、水洗化率向上を図ります。年間を通じた未接続世帯の戸別訪問、受益者負担金納付書発行時等に戸別訪問を実施するほか、下水道使用料金については、上水道料金係と連携をとり、水洗化率・収納率の向上を図っています。